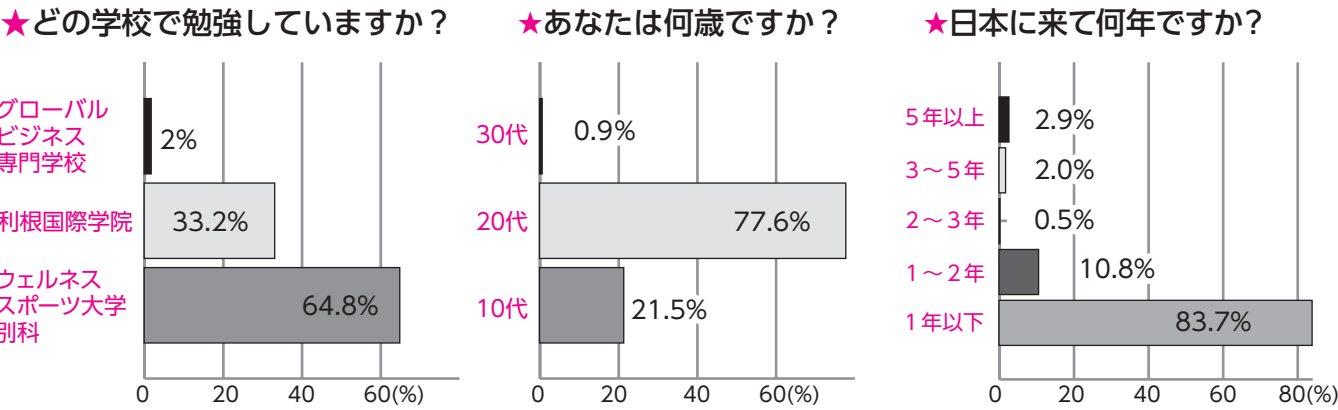


# 利根町の留学生に聞きました！ ～日本での生活について～

地域おこし協力隊と一緒に、ウェルネススポーツ大学別科、グローバルビジネス専門学校、利根国際学院に通う留学生に日本での生活についてアンケートを行いましたので、集計結果の一部をご紹介します！

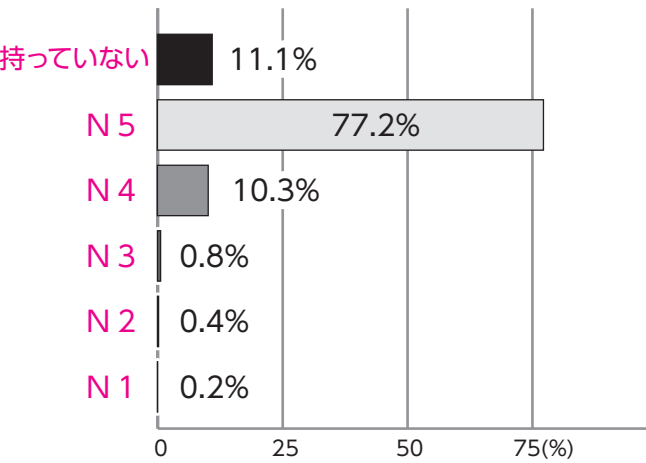
回答：3,160 人中 779 人（回答率 24.7%）令和 8 年 5 月時点

## あなたはどんな人ですか？



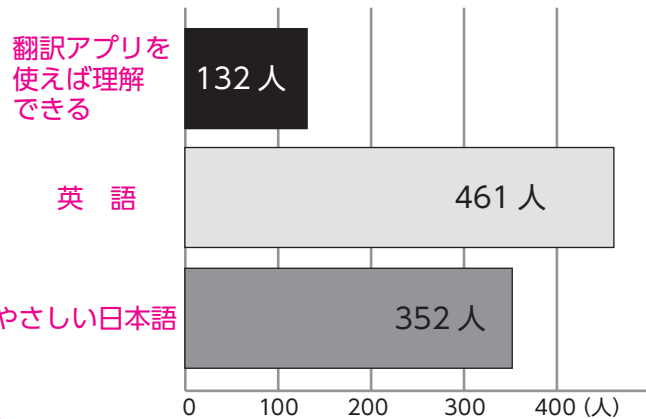
## 言語について

### ★日本語能力試験の資格を持っていますか？

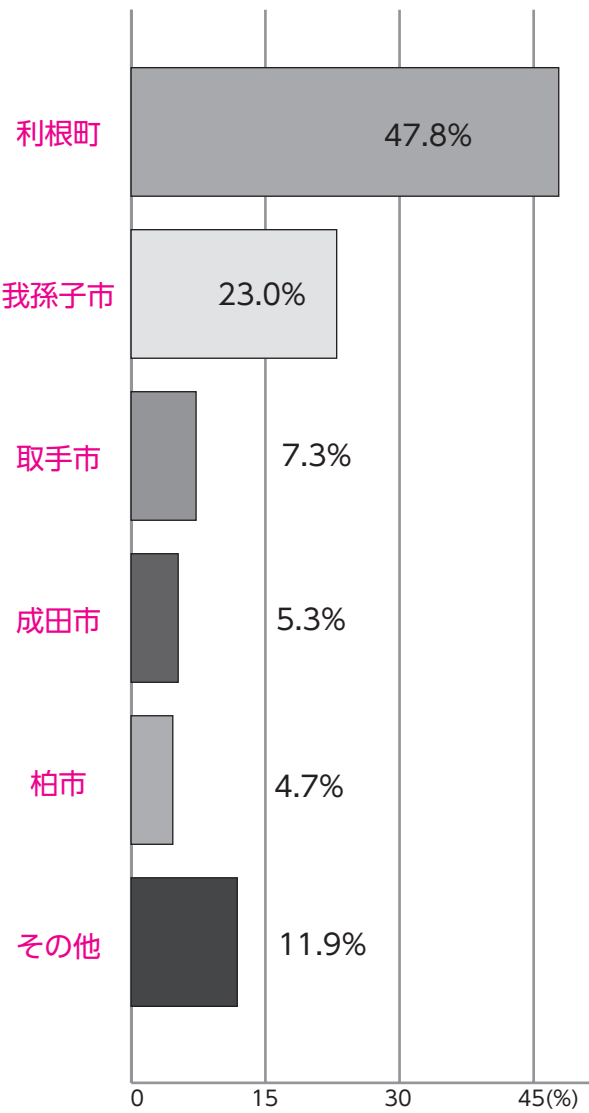


※「N5」はあいさつや自己紹介ができる初級レベルです

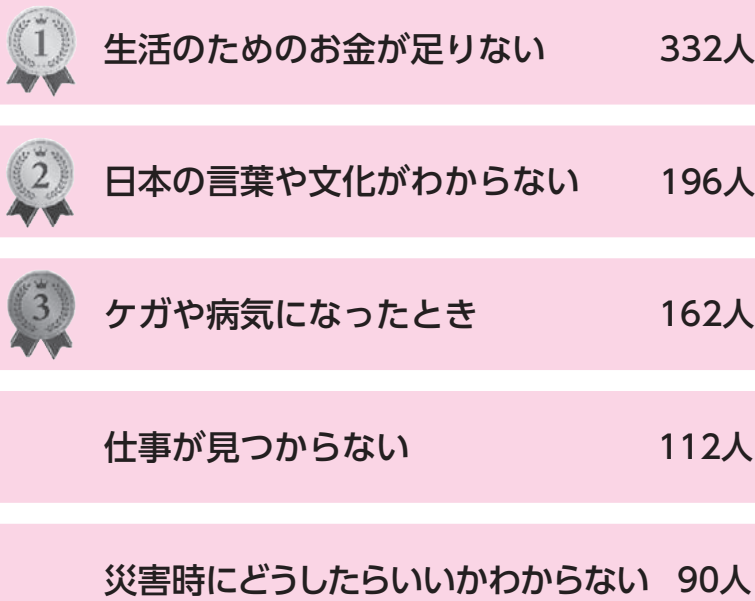
### ★どの言語が理解しやすいですか？（複数回答可）



## どこに住んでいますか？



## 生活で困ったことはありますか？（複数回答可）



生活費に不安を感じる留学生が最も多いです。留学生は「資格外活動許可」を受けることで週28時間以内のアルバイトが認められており、多くの学生がアルバイトをしながら生活しています。

日本の言葉や文化が分からず、戸惑う留学生も多くいました。特にゴミ捨てや交通ルールなど、日本ならではの生活ルールが壁となっているようです。町では、留学生を受け入れている学校でオリエンテーションを実施しました。

慣れない土地での災害は、留学生にとって大きな不安の一つです。

## 地域の人とどんなことをしたいですか？（複数選択可）

日本語を勉強したい  
464人



日本の文化・生活のルールやマナーを知りたい  
444人



日本人と友達になりたい  
220人



一緒にイベントやお祭りに参加したい  
146人



一緒にボランティアをしたい  
80人



困ったことを相談したい  
49人



## 多文化共生係より

利根町に通う留学生は、言語や文化の違いに戸惑いながらも地域とのつながりを求めています。日本語を学び、日本で働きたいという夢を持っている学生も多く、アルバイトと勉強の両立を頑張っています。一方で、日本で暮らしていくのなら、なおさら日本のルールやマナーを遵守した生活をしなければなりません。お互いを理解し、誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めていきます。